



東部複合施設開設30周年を機に防災の取組みを強化!

本年度(令和8年度)は、東部複合施設(東部公民館/東部地区福祉ひろば/東部デイサービスセンター)開設30周年を迎えます。

ます。振り返ると1995年に発生した阪神・淡路大震災が31年前、2011年の東日本大震災が15年前、2024年の能登半島地震が2年前と、大きな被害を伴う地震がたびたび発生しています。



生活基盤の広域化や世帯の核家族化、町会員の高齢化等により人間関係が希薄化する中、防災への取り組みは町会の存在意義の最も重要な部分となります。

HUGってなに?
H 避難所 U 運営 G ゲームの略称。カードゲームで避難所運営の模擬体験を行います。カードをめくるたびに、避難所では何かが次々と起こります。さあどう対処する?

東部地区町会連合会では施設開設30周年にあたり、地区全体で防災への取り組みを進めることとしました。昨年度は「東部防災計画」を策定、各町会防災地図と併せて「防災パンフレット」「わが家の地震対策」を配布し地震への備えをお願いしました。

今年度の防災の取組み

今年度は引き続き、防災への取り組み強化を続けるべく、5月25日(月)に、「HUG(ハグ)で避難所運営体験しよう」を開催しました。避難所の運営を模擬的に体験してみようというシミュレーションカードゲームです。

HUGでは、避難所運営を想定し、次々に起こる出来事を冷静に、素早く決断していくことが求められます。参加者一同、疲労困憊となりましたが、実際の避難所運営にあたる時には、思いもよらない出来事が起こることやことを学びました。

この講座のほかにも、様々な防災行事・防災講座・研修会を計画しています。9月7日(月)には、東部地区防災部の主催により、防災フィールドワークを実施予定です。

また、11月29日(日)には、清水小学校を会場に、3年ぶり2回目の実施となる東部地区避難所開設・運営訓練を実施予定です。避難所の運営を地区の住民みんなで体験しようという趣旨で実施しますので、多くの皆様のご参加をお願いいたします。



▲東部地区町会連合会により配布された「わが家の地震対策」

在宅避難のススメ

松本市は、この4月に「在宅避難のススメ」というパンフレットを作成しました。

今まで、災害時に避難する際は、避難所に行くことが当たり前と考えられがちでした。しかし避難所だけが選択肢ではありません。自宅を安全に利用できる場合には、住み慣れた自宅ですのまま避難する「在宅避難」を提唱しています。

災害時に、在宅で避難することが可能であれば、結果的に避難所に来る人の数も少なく抑えることに繋がり、避難所の環境改善にもつながります。

そのためには、つね日頃から、自宅の安全化と家庭備蓄の充実に取り組みする必要があります。自宅の耐震化、家具の固定、最低3日分の物資の備蓄など、在宅避難の実現に向けて、できることから始めてみませんか。

あなたの家が、あなたの避難所に!

在宅避難のススメ

災害から避難する際は、避難所に行くことだけが選択肢ではありません。自宅を安全に利用できる場合は、住み慣れた自宅でもそのままする「在宅避難」ができます。

国策から「自宅の安全化」と「家庭備蓄」を行い、自宅を災害時でも安心して過ごす場所にしていきましょう。

本冊子(一冊)は、災害時に自宅を安全に過ごすための具体的な方法や、避難所に行く際の準備などについて、多くの方が安全に在宅避難をすることができれば、避難所に避難しなくてもはならない方の避難所環境の向上にもつながります。

松本市発行「在宅避難のススメ」は、下の二次元コードからご覧いただけます。

松本市危機管理課



▲松本市公式観光サイト「松本旅のしらべ」より

今回は、ちいさいばあさん(桜町)から寄せられた松本城の想い出をご紹介します。

春を告げる花の中で、いちばん心待ちにするのは、松本城の桜の開花宣言です。開花宣言の日から、気温の上昇とともに、桜の花も次から次へと咲き始め、数日後には満開になります。

よく晴れた青い空を見上げると、山の群青と残雪の白、お城の漆黒と桜の花、と絵画のような

桜の城とわたし

題字 三代澤 東麟

色とりどりが頭に浮かび、自分の目で見たくなります。すぐさま、今年80歳になろうとする母を誘い、お花見ドライブに出掛けます。

最初に行く先は、やっぱり松本城。山辺街道を松本城に向かって車を走らすと、外堀の満開の桜が見え始めます。すると母は、「見事だねえ」とつぶやきます。次に、松本神社前の赤信号で必ず停止。この赤信号のおかげで、母はゆっくりと松本城と桜並木を見ることが出来ます。そして毎年のように、いつもの話が始まるのです。

「この桜の木は、植えて良かったね。私が小学2年か3年生の頃に植えたんだよ。教室で桜の苗木を入れる係、水をかける係、土をかぶせる係を決めて、先生を先頭に清水小から全員で歩いて来たよ。」

すると、お堀の土手には、もう植えるための穴がところどころに掘ってあってね。その穴に桜の苗木を入れて、みんなで植えたね。他にも大勢の小学生がいたね。私は桜の苗木を入れる係。ちょうど、この松本神社の前あた

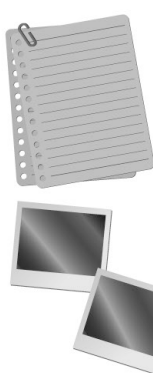
り。桜の木の幹も太くなるわけだね、私の年と同じだよ。

桜だけじゃないよ。冬は、お堀が凍ってね。子供の頃は、お堀で下駄スケートもやったよ。朝、お城の方を見て、白い旗があれば滑れて、赤い旗の時は中止。白い旗の時は、大喜びで、近所の友達に声をかけて、下駄スケートとおむすびを持って、滑りに行ったねえ。太鼓門から松本神社までの内堀が、スケート場になっていたと思うよ。楽しかったなあ。今は全く凍らなくなったね。それでも、今の松本城は、あの頃より真つすぐに建っているから、満開の桜とよく合うね」と。

そんな話を聞きながら、車は女鳥羽川、薄川沿いの桜へと巡ります。

投稿募集中!

シリーズ企画、「松本城とわたし」では、松本城に関する「思い出」や「写真」、「日々考えていること」、「エッセイ」など、皆様からの投稿お待ちしております。投稿記事は800字程度、宛先は東部公民館編集委員会事務局(☎36-8565 東部公民館内)までお寄せください。



各種講座 催し 実施しています!

東部公民館、福祉ひろばでは、「みなさんのやりたい」を応援する各種催しを開催しています。その一部をご紹介します。



4/24 須坂-小布施探訪ウォーキング



5/21 自然観察ウォークin上高地



6/3 ひろば喫茶 3匹の子豚ハンドベル演奏会



6/4 東部公民館花壇づくり



6/10 名人直伝 そば打ち講座



6/17 理学療法士による体メンテ講座